



親切・丁寧・平等  
医療法人社団 和恵会

# みちくさ

年2回発行

第47号

2026年4月  
発行

## 表紙紹介

- ・みずほケアセンターで節分レクリエーションを行いました。  
ご利用様は高得点の鬼を狙って豆まきを楽しまれました。



※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

特集  
P4、5

## 第33回日本慢性期医療学会 第36回全国介護老人保健施設大会

|                        |     |        |   |
|------------------------|-----|--------|---|
| 理事長あいさつ                | 2   | 百寿のお祝い | 6 |
| ドクター紹介                 | 3   | 季節の写真  | 7 |
| 日本慢性期医療学会・全国介護老人保健施設大会 | 4、5 |        |   |

お問い合わせは  
法人本部まで

TEL.053-440-5505

【メールアドレス】  
honbu@kotou-wakeikai.com

<http://www.kotou-wakeikai.com/>

QRコードからご覧いただけます

ホームページ



Instagram



フォロー  
お願いします



医療法人社団 和恵会  
理事長 ひろ かず 猿原 大和

日頃より、医療法人社団和恵会の各種サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。法人職員を代表し、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて、日本は「亡くなる方が増える社会（多死社会）」を迎えようとしています。この言葉だけを聞くと、不安に感じられる方もいらっしゃるかもしれません。しかし同時にそれは、「人生の最期まで、安心して暮らせる地域づくり」がこれまで以上に求められる時代でもあります。病気や認知症があっても、できる限り住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けられるよう支えることが、私たち和恵会の大切な役割です。

今年の診療報酬改定（2年に1度行われる国の医療制度の見直し）においても、国は「病気を治す医療」だけでなく、「治療後の暮らしを支える医療」を重視する方針を明確に示しました。特に、在宅や介護施設で生活されている方が体調を崩した際に、すぐに相談でき、必要な医療につながる体制づくりが重要とされています。そのためには、日頃から医療と介護が密に連携し、安心できる地域の仕組みを整えていくことが欠かせません。

和恵会は、介護医療院を中心に、介護老人保健施設（老健）、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、複数の「暮らしの場」を運営しています。さらに、ケアプランセンター、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションを備え、在宅生活を支える体制も整えています。地域包括支援センターと連携しながら、医療・介護が必要な認知症の方や、ご家族の負担が大きいケースにも向き合い、住み慣れた地域での生活を継続できるよう努めています。

今後、特に重要になるのが「介護医療院」の役割です。介護医療院は、医療が必要な方でも生活の場として安心して過ごせる施設です。点滴や痰の吸引、酸素療法、栄養管理などが必要な方、体力が低下して入退院を繰り返している方、重い認知症があり日常的な支えを要する方が今後ますます増えていきます。一方、病院は「治療の場」であり、長期の療養生活には限界があります。だからこそ、医療と生活の両面を支えられる介護医療院の重要性は、今後さらに高まっていきます。

和恵会は、高齢者人口がピークを迎える2040年に向け、次の点に重点的に取り組んでまいります。

第一に、外来機能と訪問看護の機能を活用し、ケアマネジャーと連携することで、必要なときにすぐ医療や介護につなげられる「相談と連携」の仕組みを強化します。

第二に、医療が必要な方でも安心して過ごし、最期まで支えられる体制を整えます。

第三に、リハビリ・栄養・口腔ケアを一体的に進め、食べる力・歩く力を守り、肺炎や体力低下の予防に取り組みます。特に老健では、リハビリを通じた生活機能の回復が重要であり、現在、白脇ケアセンターは在宅復帰強化型老健への移行を進めています。

第四に、働く職員を大切に、チームで支え合える職場づくりを進めます。情報通信技術も活用し、業務負担を軽減しながらケアの質の向上を図ります。

私たちは「親切・丁寧・平等」という理念のもと、医療と介護の力を合わせ、皆さまの暮らしと安心を支え続けてまいります。お困りのことがございましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。



# ドクター紹介



和恵会ケアセンター  
医師

かわ むら てつ や  
**川村 哲也**

本年1月から和恵会ケアセンターで勤務しております。

主に浜松市と沼津市で在宅医療、外来診療、病棟管理を行ってまいりました。

専門の皮膚科と高齢者医療との親和性は高く、当施設でも内科的な観点と皮膚科的な観点を駆使して丁寧な診療を心掛けたいと思っています。

特別に誇れるほどの趣味や特技はありませんが、大相撲に関しましては幼少時からテレビ観戦をしており、北の湖や輪島が活躍していたころからの記憶はあります。

また、以前は学会等で遠方に出掛ける事もありましたが、コロナウイルスの流行時よりWebでの参加が多くなり最近ではすっかり出不精となってしまいました。

年齢とともに新しい事を始めたり覚えたりする事が大変になってきておりますが、皆様の温かなご指導をよろしくお願い申し上げます。



入野ケアセンター  
医師

すぎ うら やす し  
**杉浦 康仁**

昨年11月より入野ケアセンターで勤務しております杉浦康仁です。生まれも育ちも浜松です。それも田舎で、小学校低学年の頃、まだ運行していた遠州鉄道奥山線（通称、軽便）の線路上でよく遊んでいました。なかでも、小さな鉄橋にぶら下がっていたら駅員さんにひどく怒られたことがあります。のんびりした良き時代でした。

さて、浜松医科大学卒業後同大学の脳神経外科に入局し、千葉県立救急医療センター、焼津市立病院で研修、一旦大学に戻り専門医を習得した後に聖隷三方原病院に着任。そこで24年間脳血管内治療という当時は特殊な治療法に従事させて頂きました。しかし、還暦を迎える手前で細かなものが見えにくくなり同治療を断念、以後は脳ドックなどの健診業務に

あたってきました。そして、古季を迎えた昨年こちらでお世話になることになりました。

老人保健施設という今まで経験したことのない職場で、未だ四苦八苦する日々を送っています。ただ、周囲のスタッフの方々の優しいアシストのおかげで、少しずつ慣れてきたかなという感じもしています。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2025年11月に大阪にて第33回日本慢性期医療学会、山口では第36回全国介護老人保健施設介護施設関係者に発信することができました。

医療法人社団和恵会は、このような学会活動に積極的に参加しています。学ぶことで知識にしていきます。

## 第33回日本慢性期医療学会(大阪)

ご利用者様のストレス緩和のために  
～におい対策から生活の質の向上を目指して～

湖東ケアセンター 看護師 菊池和枝

ご利用者様のストレス緩和のために、におい対策から生活の質の向上を目指した取り組みについて発表しました。

高齢化が進む中、医療、看護、介護の需要はますます高まっています。そのような状況において、介護医療院の位置づけ、役割も重要になってきており、ご利用者様により良いケアを提供するためには全体の質の維持向上が大切であると考えます。

今回の取り組みにより、ご利用者様とコミュニケーションをとり、様々な方法を考えながら試行することが大切であり、薬剤だけでなく日々のケアで少しでも症状の緩和ができるよう、また、その人にあった方法を検討し、生活の質の向上に努めることが大切であることをあらためて感じました。ご利用者様一人一人に向き合い、その人らしさを尊重し、その人らしく安心して生活できるよう、いろいろと工夫してチームで取り組み、よりよいケアにつなげていきたいと思います。

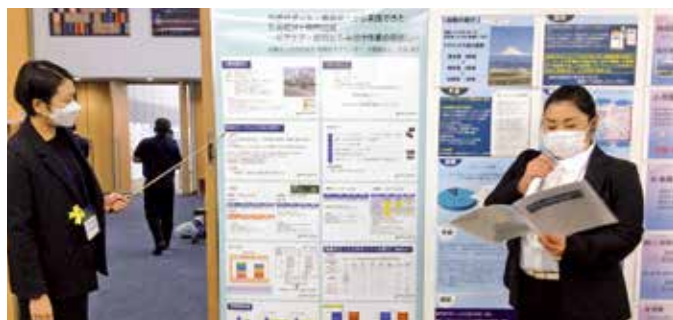
外部サポート・機器導入から実践できた  
負担軽減と時間削減

和恵会ケアセンター 介護福祉士 大場潤子

職員の業務負担軽減と、ご利用者様のより良い生活の実現をめざし、外部サポートの活用や福祉機器の導入による業務改善に取り組みました。

まず、外部サポートとしておむつメーカーによる排泄ケア研修を実施し、特に夜間帯のおむつの選び方や装着方法を見直しました。研修を通して、ご利用者様一人ひとりの状態に合わせたおむつ選定や装着技術が高まったことで、夜間の尿漏れや着替えの回数が減り、排泄ケアにかかる時間も短縮されました。その結果、職員の夜間業務の負担が軽くなるとともに、より質の高い排泄ケアを行えるようになりました。また、ご利用者様にとっても排泄交換の回数が減ったことで睡眠が妨げられにくくなり、安心してお休みいただける環境づくりにつながりました。

さらに、和恵会ケアセンターでは、トロミ剤を使用されるご利用者様が多いことからトロミサーバーを導入しました。これまでトロミ調整にはおよそ50分かかっていましたが、導入後は約20分まで短縮され、約30分の余裕が生まれました。この時間を離床介助や見守りに活用することで、転倒・転落のリスク低減につながるとともに、職員の負担軽減にも役立っています。加えて、介助に関わる職員の体制をより整えることができ、身体的負担の軽減にもつながっています。



設大会が開催され、それぞれの施設の取り組みを全国の病院、

・技術を向上させ、地域の高齢者医療・介護をより良いもの



## 第36回全国介護老人保健施設大会(山口)

### 強化型老健における在宅復帰支援

みずほケアセンター 支援相談員 松下愛実

「強化型老健における在宅復帰支援」というテーマで現在の取り組みと今後に向けての課題について発表しました。

みずほケアセンターは2016年から加算型施設として運営し、多職種で連携を行い在宅支援を行ってきました。さらに、これまでの取り組みを強化し、体制を整備することで、2024年8月から在宅強化型へ移行し、2025年3月からは超強化型の算定を始めることになりました。

日々、施設内の専門職をはじめ外部サービス、在宅のケアマネジャーとも連携を図っています。今回他施設の発表を聞き、迅速に対応するためには多職種連携が重要であることを再認識するとともに、超強化型老健に求められる対応について理解を深めることができました。

今後もより一層、多職種連携を強化し、ご利用者様、ご家族様の要望に沿った在宅復帰支援が行えるよう取り組んでいきたいと思ひます。





令和7年度に百寿を迎えられた皆様に、内閣総理大臣と自治体からお祝い状と記念品が贈呈されました。

当法人でも、12名のご利用者様が100歳の節目を迎えられました。  
皆様のご長寿を心よりお祝い申し上げます。

※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

# 季節の写真

各施設で季節に沿った行事の写真をご紹介します。

10月

入野やわらの家



お月見団子作り

白脇ケアセンター



利用者様作品

介護医療院 湖東病院



縁日

介護医療院 湖東病院



ボランティアさん観覧

みずほケアセンター



園芸活動

入野やわらの家



家族会

湖東ケアセンター



習字クラブ

白脇ケアセンター



運動会

11月

みずほケアセンター



お祭り

入野ケアセンター



折り紙クラブ

和恵会ケアセンター



クリスマス会



12月

和恵会医療院



新年会

介護医療院 湖東病院



初詣

入野やわらの家



壁画づくり

入野ケアセンター



獅子舞

1月

入野やわらの家



節分

入野ケアセンター



ボランティアさん観覧

白脇ケアセンター



行事食(節分)

シャトー新橋



イベント喫茶

2月

白脇ケアセンター



利用者様作品

入野やわらの家



お花見

入野ケアセンター



貼り絵制作

3月



※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

〈介護医療院〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉  
**介護医療院 湖東病院**(169床) 〒431-1111 浜松市中央区伊左地町8151  
 〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉  
**湖東ケアセンター**(60床)

湖東クリニック(内科・皮膚科)

TEL.053-486-2222(代表) FAX.053-486-2618

伊佐見訪問看護ステーション TEL.053-486-3883 FAX.053-488-5525  
 ケアプランセンター湖東 TEL.053-486-5566 FAX.053-488-5525



伊佐見山崎線バス停湖東病院前下車

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉  
**白脇ケアセンター**(100床) 〒430-0846 浜松市中央区白羽町1424  
 TEL.053-444-3131(代表) FAX.053-444-3132

〒432-8053 浜松市中央区法枝町248-3

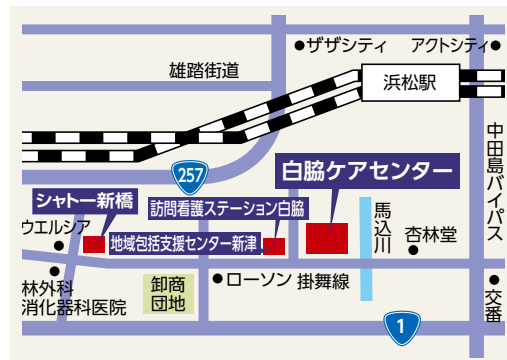
訪問看護ステーション白脇 TEL.053-444-3030 FAX.053-444-3005

ケアプランセンター白脇 TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

ヘルパーセンター浜松(白脇出張所) TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

〈浜松市受託事業〉高齢者相談センター新津

**地域包括支援センター新津** TEL.053-444-3333 FAX.053-444-3335



〈サービス付き高齢者向け住宅〉

**シャトー新橋** 〒432-8058 浜松市中央区新橋町1245

TEL.053-442-8800 FAX.053-442-8810

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

**和恵会ケアセンター**(100床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6413

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

**和恵会医療院**(80床)

和恵会クリニック(高齢者精神科・内科)

TEL.053-440-5500(代表) FAX.053-440-5501

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

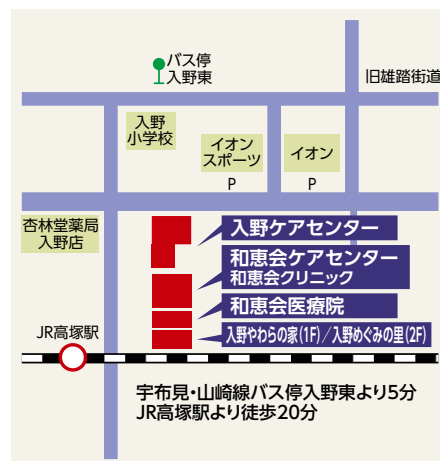
**入野ケアセンター**(150床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6417

TEL.053-440-1200(代表) FAX.053-440-1201

訪問看護ステーション入野 TEL.053-440-3000 FAX.053-440-1551

ケアプランセンター入野 TEL.053-440-1203 FAX.053-440-1201

ヘルパーセンター浜松 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201



宇布見・山崎線バス停入野東より5分

JR高塚駅より徒歩20分

〈認知症対応型共同生活介護・グループホーム〉

**入野やわらの家**[1F](18床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6410

TEL.053-440-3977(代表) FAX.053-440-9502

〈地域密着型通所介護〉

**入野めぐみの里**[2F]

TEL.053-440-9500(代表) FAX.053-440-9502

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

**みずほケアセンター**(100床) 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-36

TEL.053-414-2220(代表) FAX.053-414-2225

ケアプランセンターみずほ TEL.053-414-2222 FAX.053-414-2225

ヘルパーセンター浜松(みずほ出張所) TEL.053-414-2220 FAX.053-414-2225

## やまと株式会社

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

**シャトー高丘** 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

〈福祉用具貸与・特定福祉用具販売〉

**やまとメディカル** 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30(シャトー高丘内)

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557



高台線41バス停高丘町農協より徒歩3分

## 社会福祉法人 行和会

〈特別養護老人ホーム〉

**葵の里** 〒433-8111 浜松市中央区葵西6丁目10-62

TEL.053-420-2220 FAX.053-420-2255

〈地域密着型介護老人福祉施設〉

**こうこうの里** 〒432-8061 浜松市中央区入野町10825-1

TEL.053-440-7733 FAX.053-440-7738